

企画課（東出、野口知）
神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1
TEL:078-882-6159（直通） FAX:078-801-1185
E-mail: kikaku@shoin.ac.jp



マンション再生を考える —住み続ける、使い続ける、参加する— シンポジウム 参加者募集！

マンションストックは560万戸、そこには1400万人が居住している。同時に、築30年以上の「高経年マンション」は約100万戸にも達し、しかも毎年10万戸単位で増え続けている。一方、居住者においては高齢化が進み、バリアフリー等福祉対策も必要となっているものの不十分であり、居住問題が深刻化しつつある。

マンション自体の経年による劣化と居住者の高齢化という二つの“老い”に対して、マンション再生をどのように考えるべきか！

これまで国の再生施策といえば建て替えに重点が置かれていたが、経過をみると建て替えが行われたのは100万戸ストックの僅か1%程度に留まっている。むしろ、大多数の「高経年マンション」にとっての課題は、**コミュニティを大事にしながら如何に住み続けるかであり、どのようにしたら使い続けることが出来るのか、**である。それを進めるには、居住者間での合意が必要であり、**マンション再生への居住者の参加が避けられない。**

— 記 —

- ◆ 主催 神戸松蔭女子学院大学 暮らし・まちデザイン研究会
- ◆ 日時： **2010年11月27日(土)**
13:30~17:00 シンポジウム
17:30~19:30 懇親会
- ◆ 内容 基調報告： 増永理彦（同大学人間科学部ファッション・ハウジングデザイン学科教授）
コーディネーター： 中林 浩（同大学人間科学部ファッション・ハウジングデザイン学科教授）
パネリスト： 立石裕稔（「労住まきのハイツ 暮らしの支援かけはし」代表）
谷垣千秋（「NPO法人全国マンション管理組合連合会」事務局長）
千代崎一夫（「住まいとまちづくりコープ」代表）
若原キヌコ（「被災地クラブ」代表）
増永理彦（前出）
- ◆ 会場：**神戸松蔭女子学院大学 233教室（2号館3階）**
懇親会： 同喫茶「カフェこもれび」（2号館地下）
- ◆ 参加費： **シンポジウムは無料・予約不要**
懇親会 4,000円（当日「受付」にて申込み下さい。）
- ◆ 問い合わせ先：**神戸松蔭女子学院大学 増永研究室**
電話：078-882-6102 FAX：078-882-6138
E-mail：massam@shoin.ac.jp